

第3次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）の骨子に関する
パブリックコメントにお寄せいただいたご意見と市の考え方

茅野市が制定を進めている「第3次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）」の骨子に関するパブリックコメントを実施したところ、下記のとおり貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

記

○パブリックコメントの実施状況

1 意見の募集期間	2 意見の提出者数と件数		3 意見の提出方法別人数				
	提出者	件数	メール	郵送	F A X	持参	計
平成30年3月1日（木） ～ 3月14日（水）	4人	10件	4人	0人	0人	0人	4人

※同一意見提出者から複数項目にわたるご意見をいただいている場合があるため、意見提出者数と意見件数は一致しない場合があります。

4 いただいたご意見とそれに対する市の考え方

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
1	施策目標2 【支える】 施策 【子ども・家庭への支援の充実】 に関連	<p>子どもが病気の際に、預かってくれる身内のいない家庭や、簡単に仕事を休めない母親が病児保育を利用することが多いと思いますが、利用時間が午後4時までであり、利用に際しても必要な医療支援が得られているのか少し疑問に感じます。病児だけでなく病後児が多少長い時間の預かりが必要なケースもあると思うので、一般的な勤務終了時間の午後5時まで利用できることが望ましいと思います。また、病状が急性期であり、何日か連続で利用する際には、翌日の利用についての助言や必要な検査の追加など、子供の安全を考慮していただけると、より安心して利用できると思います。</p>	<p>病児病後児保育の利用については、平成27年度からスタートした茅野市子ども・子育て支援事業計画の策定時においても、利用時間の拡大は必要に応じ検討することとしています。</p> <p>なお、現在の病児病後児保育の利用で、予約はしたもののキャンセルが発生し、当日にならないと利用人数が確定しない状況が多々あります。保育士の手配においても、確保はしたが当日キャンセルにより、保育士が不要となることもあり、運営面における課題があることも否めない状況です。事業を継続していくために、課題の共有や解決策を検討する中で、保護者の方のニーズに対応していきたいと考えています。また、医療支援については、主治医の受診や、病児病後児施設の連携医療機関への受診の中で対応していただきたいと思います。</p>

2	<p>施策目標 2 【支える】 施策 【子ども・家庭への支援の充実】 に関連</p>	<p>保育園の一時保育の充実を希望します。一時保育が混んでいて利用しにくい、できないという声があります。その際に民間の託児や勤務先の託児などを探すケースもあるようです。その結果、預かり先があればよいのですが、見つからなかった場合に家族の負担や不安が大きくなると思います。まずは一時保育の利用を充実させることで、安心して子育てのできる社会にしてほしいと思っています。</p>	<p>一時保育を実施している小泉保育園が、平成30年度にリノベーション工事により一時休止となるため、宮川第二保育園と米沢保育園で定員数を拡大し、今までと変わらない人数の受け入れを行う予定です。</p> <p>なお、平成29年度の利用状況をみますと、3園の延利用者数は2,582人、年間の1日利用者平均数は3.4人であり、定員を下回る状況です。一時保育が混んでいて利用しづらい状況の原因として、インターネット予約でとりあえず予約はするが、当日キャンセルをするために、真に利用を希望する方が事前予約できない状況があると考えています。利用のルール等についても検討し、利用しやすい仕組みづくりが必要であると考えます。</p>
3	<p>施策目標 2 【支える】 施策 【子ども・家庭への支援の充実】 に関連</p>	<p>夏休みなど長期休み小学校の学童の受け入れ時間は午前8時からですが、その時間に子どもを送っていくと仕事に間に合わないので、午前7時30分からにするなどもう少し早い時間から受け入れができないのでしょうか。</p>	<p>長期休業中における学童クラブの開所時間は午前8時からになっていますが、それより早い時間に送っていただく場合は、家庭の責任で開所前に児童を外で待機させることの申請をしていただいています。現状でご理解ください。</p>

4	<p>施策目標 2 【支える】 施策 【子ども・家庭への支援の充実】 に関連</p>	<p>台風などの警報が出ると小学校、学童クラブとも休みになってしまうので、預け先が無い家庭はどうしたらいいのでしょうか？</p>	<p>警報発令時の休校措置は、子どもの安全確保を第一に考え、外出を避けるために実施しています。家庭での対応にご理解とご協力をお願いします。</p> <p>なお、家庭での対応が難しい場合は、有償サービスであるファミリー・サポート・センター事業にて預かりが可能です。ただし、事前に援助していただく方との手続きが必要であること、また、対応できる人数に限りがあります。そのため、地域や友人等の人のつながりの中で対応していただくことが大事であると考えます。</p>
5	<p>施策目標 3 【つなぐ・つどう】 に関連</p>	<p>自発的な子育てサークルの活動紹介はしていますが、そのサークルをつなげることができていません。そういったことにも力を入れることが必要だと思います。</p>	<p>子育ては多くの市民の協力が必要です。子育て関係団体間がつながり、情報交換等が行える仕組みづくりを検討します。</p>
6	<p>2P 【参考】これまでの検討による主な課題</p>	<p>子ども食堂や地域の活動のコーディネーターが必要ということですが、実際にはどのような仕組み作りをしているのでしょうか。</p>	<p>具体的な仕組みづくりは、今後の計画策定の中で検討します。</p>

7	その他	<p>今の茅野市の子どもに対する「食」のあり方について、改善を希望します。</p> <p>離乳食教室等で栄養士さんより子どもと一緒に料理をすることは良い機会ですが、根本である食材の選び方については何も教えてくれる所がありません。添加物だらけの食材が溢れていますが、子どもにとってリスクが高く、味覚の発達する赤ちゃんの頃から、そのようなものを食べさせるのではなく、年齢が小さければ小さい程、食材は選ぶべきだと思います。</p> <p>保育園の未満児クラスのおやつに市販の添加物だらけのお菓子が出ています。保育園は手づくりのおやつが望ましいです。</p> <p>給食の食材、調味料には力を入れて質の良いものを取り扱っていただきたいと思います。</p> <p>給食食材の野菜は出来れば地元産の無農薬のもの、北山保育園では野菜は地元の無農薬のものを給食で取り扱っているそうです。北山保育園は今までインフルエンザで一度も閉鎖になったことがないとのこと、食材からの子ども達の免疫力の高さもあると思います。野菜の生産者である農家の方々を保育園にお呼びして園児との交流もあるそうですが、食育においてもとても良い取り組みだと思います。</p> <p>調味料については、色々な添加物の入った醤油、</p>	<p>茅野市では、第2次食育推進計画（元気もりもり食育プラン）に沿って、あらゆる世代で、健全な食生活を実践することができる人を増やす取り組みを行っています。その計画の中には、地場産食材を多く取り入れた給食の実施や、食に対する正しい知識を発信していくことも含まれています。家庭、関係団体、行政みんなで食のことを考え、行動して、元気に過ごすことができる地域づくりを目指しています。</p> <p>食材の添加物については、特に取り上げてお話しをいたしません。大切なことですので、表示を良く見ることや、添加物の少ないものを選ぶことを呼びかけていきたいと思います。</p> <p>保育園のおやつについては、毎日手づくりのおやつを提供したいところですが、午前10時のおやつ(未満児)は、給食を午前11時前後に仕上げる必要があることや、離乳食や食物アレルギーの個別の対応をしながら、同時進行で調理を行っているため、作業時間の配分によって、週に1～2回は市販のものになっています。午後のおやつは、保育士と調理員が食物アレルギー児や離乳食の打合せを行なう時間を確保するため、週1～2回は市販のものになっています。市販のおやつの内容は、牛乳、ヨーグルト、せんべい、ビスケット、ゼリー、ウエハース、コーンフレーク、パンなどであり、市販のおやつ以外では、野菜(きゅうり、トマト、とうもろこしなど)、果物、手作りの蒸しパン、サンドパン、ゼリー、団子、芋料理などを取り入れています。おやつは、3回の食事では補えない部分の第4の食事という基本的な考えの中で提供しています。ご指摘のとおり</p>
---	-----	--	--

		<p>味噌、みりんではなく、本物の醤油や味噌やみりん、砂糖や塩も、栄養のない精製されたものではなく、ミネラルが豊富な粗製糖や甜菜糖、自然海塩を使っていただきたいと思います。本物の調味料の味を小さな頃から知ることに加え、食育として保育園で味噌を仕込んだり醤油を絞ったりしても良いと思います。パンやうどんなど小麦粉製品も減らし基本はご飯にして欲しいです。</p> <p>実際に給食の食材の質を変えたことで子ども達の性格や学力に良い変化があったことが証明されています。学力の低い生徒が少なくなり、非行や少年犯罪が減少したそうです。茅野市も食の在り方を変えるだけで、子どもの将来、ひいては茅野市自体の未来が非常に良い方向に変わると思います。</p>	<p>り市販のお菓子は控えたいところですが、今のところ毎日ではできない状況です。今後できるだけ手づくりや素材のものを使ったおやつを提供を心がけます。</p> <p>給食の食材については、給食地場産団体のご協力により、新鮮で安全なおいしい地元の野菜が給食に届く仕組みを整えています。調味料は使いすぎず、特に塩分、糖分は子どもたちに適する量となるよう心掛けています。煮干し、かつお節等でだしをとり、薄味でもおいしく食べられる工夫をし、素材の味を知ることから、味覚形成につなげています。ミネラルなど必要な栄養は、食材で補うようにしています。また、各保育園では畑作りを行っており、子ども達が育てた野菜を給食で味わえる取組や、手作り味噌を作っている園もあります。</p> <p>なお、野菜の廃棄分や残菜は堆肥にリサイクルし、生産者団体にも使っていただき、給食の食材づくりに活用されています。</p> <p>小麦粉製品を減らすことについては、保育園は主食のご飯を家庭から持参していただいていますので、基本は毎日ご飯になっています。ただし、献立に変化をつけるため月に1回は麺の日を取り入れ、焼きそば、うどん、そうめんなどを提供し、月に1回～2回はおやつにパンを使って手作りのサンドパンなどを提供しています。</p> <p>今後も様々な取組みで安心安全なおいしい給食を提供するよう努めます。</p>
--	--	--	---

8	その他	<p>保育園や学校の給食食材は農薬や添加物、放射能などについて配慮され、安心なものが使われているでしょうか。</p>	<p>給食食材について、野菜は給食地場産団体のご協力により、新鮮で安全なおいしい地元の野菜が給食に届く仕組みを整えています。添加物については不必要なものは使用しない配慮をしています。放射能については検査（県ホームページにて公表）を行っており、安心安全な食材の使用を行っています。</p>
9	その他	<p>まず、子育て中の親たちにこうしたパブリックコメントの募集があることが、ほとんど伝わっていないということに対して、何らかの対処をしてほしいと思います。</p> <p>どんぐりネットワークでも、市内で活動しているサークル等の連携や紹介をしているのですから、そういったところに、パブリックコメント募集のお知らせをすることもできると思います。</p>	<p>パブリックコメントの実施周知は、他の計画と併せて広報の及び茅野市ホームページにて行いました。いただいた意見を参考に周知方法の工夫に努めます。</p>
10	その他	<p>玉川小学校付近は送迎時間帯に人と車が混雑し、とても危険に感じます。玉川保育園、小学校、コミュニティで使える広い駐車場の整備や、玉川コミュニティ横の交差点に右折専用レーンが欲しいです。</p>	<p>駐車場の整備は用地の確保などの課題があるため、現状の利用方法でご理解ください。</p> <p>交差点に右折レーンを設置するには、大規模な交差点改良工事が必要になりますので、直ちに設置することは困難な状況です。工事の実施については、今後の交通状況を見ながら、検討してまいります。</p>